

山ノ内町立学校づくり準備委員会 会議結果報告書

会 議 名	第 12 回山ノ内町立学校づくり準備委員会	
日 時	令和 8 年 6 月 17 日（水） 午後 5 時 30 分～午後 7 時 10 分	
会 場	山ノ内町文化センター 3 階ホール	
出席・傍聴人数	出席 29 人 / 欠席 3 人	傍聴者 4 人
	ユースサポーター 2 名出席	
会議内容	【伏木委員長あいさつ】 この会議は行政の難しい会議から転換し、北欧のフィーカ方式をとっており、委員の皆さまも会議に来たからには何か意見を話すというようなスタンスで現在 2 年目を迎えた。委員の皆さんはこの学校づくりだけではなく、今後の山ノ内町のまちづくりの主役ひとりひとりとなっていく気持ちで、また、重要なメンバーと考えているので、本日も皆さんで活発な意見を出し合っていきたい。と、鼓舞・激励のあいさつをいただいた。 【報告事項】 （１）この会議のスタンスと新しい学校のコンセプトについて（資料 1） この会議は委員全員で意見を出し合う会議であること、新しい学校の「たてのつながり」「よこのひろがり」そして、新しい施設については作りこみすぎない「余白」の部分について、振り返った。 （２）前回会議の結果について（資料 2） 前回会議の結果を報告。 （３）設計プロポーザル 提案内容の共有 株式会社 宮本忠長建築設計事務所より、改めてプロポーザル提案時点での設計提案内容を発表してもらい、準備委員会で内容を共有した。 （４）まちづくりこども委員会の開催結果について 6 月 10 日に実施した第 1 回まちづくりこども委員会の結果を報告。第 1 回まちづくりこども委員会では、中学生の委員の皆さんに現段階の設計平面図を確認してもらい、意見を出し合った。 【会議事項】 （１）校名の検討方法について（資料 3） 校名の検討方法について、ユースサポーターに検討方法を依頼。検討結果をユ	

	ースサポーターから発表。 ●伏木委員長のコメント まず検討方法について、ユースサポーターの皆さんが検討するということ、この会議にとってとても重要なことと思う。私なりの意見としては、ステップ②の段階でテーマをもって絞り込むのではなく、町民の募集の段階でテーマを設定する必要性があるのではないかと考える。 ユースサポーターからの校名の検討方法に基づき、校名を絞り込む際のテーマ設定のためのアイデアだしを行うため、グループワークを行った。 ※グループワークのまとめは別紙のとおり ●伏木委員長のコメント 今回のグループワークのテーマは大変難しいものであったが、委員の皆さまからはたくさんの意見をいただいて、大変感謝している。 今回の意見は、校名の検討のみならず、校歌の検討にも使えるのではないかと感じた。
決定事項等	・校名の検討方法の大まかな流れ（詳細な内容については次回提案予定）

第 12 回山ノ内町立学校づくり準備委員会 グループワークのまとめ

1. 未来軸（こどもたちへの願い）

① 自立と挑戦（主体性・たくましさ）

探究・学習： 興味をもって知ろうとする、自ら学ぶ、学習への苦手意識を軽く

挑戦・継続： チャレンジができる、あきらめない気持ち、広い可能性

心の安定： 落ち着いている、慌てない、のびのび、明るい、元気、楽しく生きる子

② 協働とコミュニケーション（つながり）

他者理解・共生： 協働力、思いやり、人の気持ちがわかる、他者とのつながり

多様な集団： 異学年との助け合い

表現・発信： 自分の考えをもって伝えられる

③ 自己肯定感とアイデンティティ（自信と愛着）

自己尊重： 自分への自信、自分を大切にする、個性がある

郷土愛： 故郷への自信、ふるさとを愛する子

④ 豊かな知性と感性（グローバル・未来への広がり）

思考・視野： 想像力、多角的な視野、振り返ることができる

感性・健康： 感性豊か、運動大好き

世界への広がり： 世界で輝ける、外国語に強い

2. 地域軸（山ノ内町って）

① 豊かな自然と独自の環境

地形・気候： 山、高原、志賀高原、里山、緑、雪

資源・象徴： 水資源、星空、温泉、桜、フルーツ

動植物・国際認証： 猿、スノーモンキー、ユネスコエコパーク、自然豊か

② 文化・観光と「おもてなし」

産業・文化： 観光、リゾート、文化、雪白舞

芸術・教育資産： 音楽（小澤先生、コカリナ）

姿勢： おもてなし、豊かさ

③ あたたかい人とコミュニティ

関係性： 人のあたたかさ、お年寄りが元気

④ 地域から世界へ

世界との距離： グローバル、世界が近い

3. 響きデザイン（学校名・愛称へのアイデア）

① コンセプト・一体感（込める想い）

町の一体感： オール山ノ内、山ノ内、やまのなか

未来と開放性： みらいやまのうち、オープン山ノ内

地域資源の象徴： スキー

② 言語と表記のスタイル

グローバル： SHIGA、英語の響きもいい、カタカナ、〇〇スクール、

親しみやすさ・伝統： ひらがな、「山」を入れる

③ 名称としての機能性・条件

発音・分かりやすさ： 誰でも発音できる響き、ぱっと見で学校とわかるもの

〇〇学園、やまのうち小中学校、「学校」「学園」以外で5文字

独自性・インパクト： かぶらないオリジナリティ、インパクトが強い

① 未来

ちがうものに
興味をもつ
知ろうとする
こと

協働
地域の
異世代
年代別 etc.

危ないことに
あてない
こと
ことごとく
ことごとく

思いやりの
心を
大切に

のびのび

自分 地域への
自信

ゆめ
創造

町への愛着

物事を
いろんな面
から考えられる人

② 地域

インバウンド
(グローバル)

リゾート

音楽の町
小澤先生
コカリナ etc.

生き物に
よく
さぐらう

おもてなし

雪と緑

フルーツ

緑と赤
と茶色

暑い
寒い

雪

猿

山

果物
りんご 桃 梨

温泉
巡

③ ひびき デザイン

SHIGA

オール
山内

山内

やまのなかに
山の中

オープン
山内

誰でも
発音できる
響き

みらい
やまのうら

英語で
人々の意味の
ない単語

優しい子

優しい

優

自分の
意見も
持つ

人を知る

思いやりの
ある子

自分と
太極に
する

光

フーリエ
Yamanashi
を愛する

やさしい
ある子

チャレンジ
できる

山内にも
愛する

感性
豊かな

素直

原体験
半信半疑
それ

強い子

運動
大好きな
子

ユネスコ

豊かな自然

豊か

自然
(山)

山内
山内

豊かな
水

人の温かさ

志賀高原

志賀高原
リバー
パーク

りんご

お年寄り
が大切に
する

温泉

りんご

サイン
スカー

温泉

りんご

スキー

旅行客
が来る

雪白舞

サル

星空

スキー

雪

山内は
いい

短すぎ
長すぎ

あつた

ひらがな

響き

ひらがな
3文字
(あいうえ)

省略の
響きがい

ひらがな

呼ぶ

ひらがな
ひらがな

ひらがな

ひらがな